

留学レポート

聖マリア女学院高等学校 姜 旻彩（アメリカ合衆国）

約 10 ヶ月間のアメリカ留学を通して私が感じたこと、学んだこと、成長したことについて話そうと思います。第一に私が留学中取り組んだことは、毎月の課題、目標を決め今自分がどのような状況なのか、今月何を経験し、学んだのかなどを記録した事です。例えば、学校生活・学習面についての目標の場合は、成績を維持するために授業を理解できるように取り組むこと。クラブ員として活動に参加して役に立つこと。家庭生活面についての目標は、自分が思ったことや感じた部分を声にして発すること。互いに支え合える関係になること。などのように、記録を残しました。

私が留学したテキサス州では、いろんな背景をもった人々がたくさんいました。学校でもインドやフィリピン、ヒスパニックなどの生徒がいました。しかし、私が行った学校には日本人や韓国人の生徒や留学生がいませんでした。いない分英語を使う機会がたくさんありました。私のホスト兄妹は学校にいかず家でホームスクリーンをしていたので最初学校ではなかなか友達との繋がりを作ることが大変でした。でも授業やランチの時間、私が参加したダンスクラブで友達を作っていくことができました。

私のホストファミリーはテコンドーを習ったり、教えることをしていました。なのでほとんど毎日テコンドー場に行き多くの時間をそこで過ごすので私もクラスに参加することにしました。クラスには子供から大人までいろんなコミュニティがあり、同じ年齢の子たちだけでなく様々な年代の方と話したり、活動することができました。また、これを通してホストファミリーと多くの時間を過ごすことができたり、大会にも参加し賞を獲得する事もできました。テコンドーは個人戦でもあるけど団体戦でもあることを感じました。また性や年齢関係なく一緒になって助け合って取り組むことの大切さを感じました。

私の留学の境目となった時は3ヶ月間目に差し掛かった時でした。ホストファミリー変更が行われることにより全ての周りの環境が変わり、新しい学校に行くことになりました。この

時、突然のことであつたのでとても混乱し、大変な思いをしました。でも新しい環境の中で新しい自分のコミュニティを作り上げ、新しいことを学ぶことを通して精神的にも成長したと感じました。留学は楽しいこともあるけど覚悟していた以上に大変なこともありました。文化の違いや価値観、言葉の壁は思った以上に高かったです。でも最終的には一步一步進んで壁を越えることができましたと感じます。アメリカ留学を通して、英語力だけではなく、自立心や生活力、精神的な部分やコミュニケーション力、幅広い価値観を身につけることができました。この約 10 ヶ月間のアメリカ留学は私の人生において深い境目となった貴重な時間でした。このように学んだこと、身につけたことを留学後の学校生活、日常生活で活かして行きたいです。

